コンピュータ演習A

理工学部　情報科学科

27016624 山岡源

　今回のProcessingのコードを作成した意図について、まず最初に立体的な物を作り、動かしたいという考えがありました。それに加えて、コードの中で機能している変数をキーボードまたはマウスの操作において画面上で目に見えて変更できるようにしたいという思いがありました。苦労した点としては、最初に立方体を回すコードを書き、その後にスクロールバーをプロセッシングの公式サイトのサンプル（<https://processing.org/examples/scrollbar.html>）を引用して作成したのですが、この時点で立方体と同じ角度と速度でスクロールバーが動き、操作できない状況に至ったということです。このことを改善することが一番苦労した点だと思います。

コード解説につい。

・スクロールバー

今回はスクロールバーを二つ作成しました。６３行目以下のクラスは上記に記載したサンプルコードを用いました。その後、上のバーは回転速度（４３行目）、下のバーは角度（３７行目）の変数を変更させることを目的としてhs.getPosを用いてバーに引き込みました。ここでは、速度と角度共にprintlnを用いて自分が変更したい幅を検討しスクロールバーの中心の値を決定しました。

・立方体

普通の立方体に、キーを押すと個数が増える仕様を追加しました。